

2010年3月15日

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

URL <http://www.t-s-r.co.jp>

東京都千代田区岩本町 3-7-4 TSR ビル

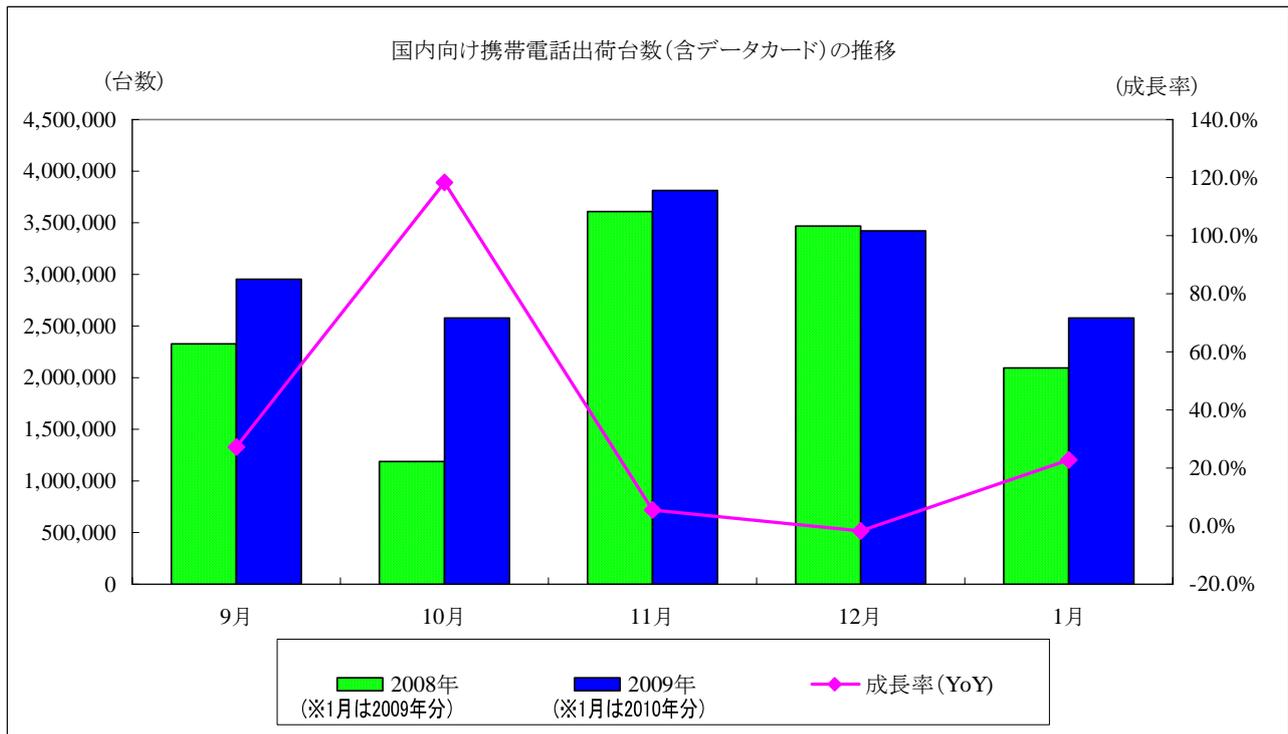
代表取締役社長 藤田正雄

2010年1月の国内携帯電話出荷台数は前年同月比120%強の成長

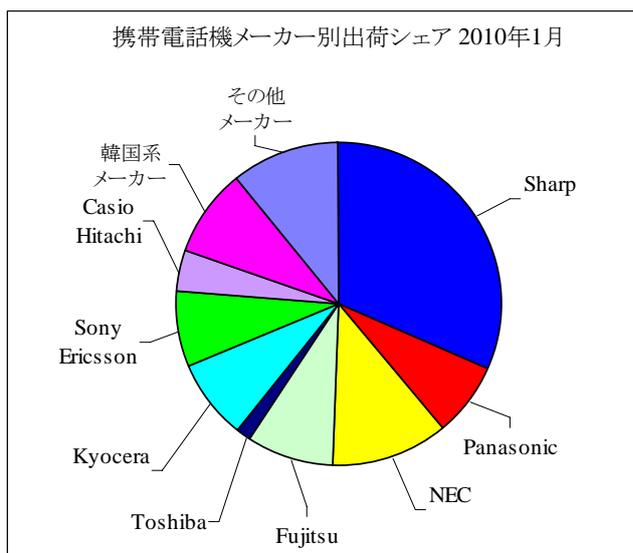
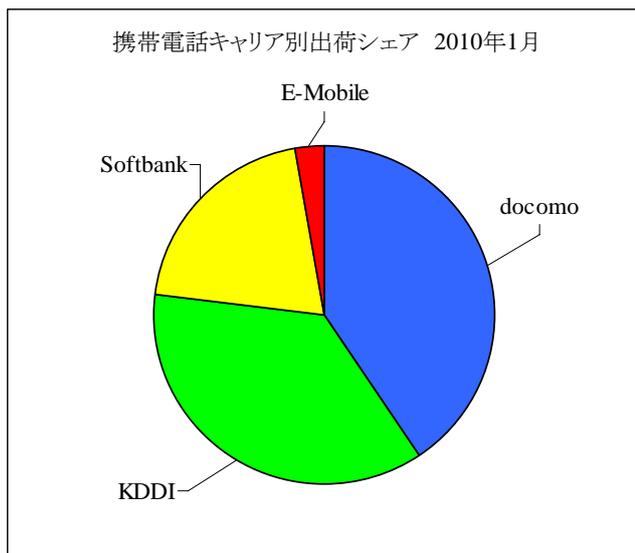
～ KDDI 向け出荷が前年同月比200%を上回り、2008年水準に近づく ～

株式会社テクノ・システム・リサーチは国内市場向け携帯電話出荷台数の統計資料『月刊携帯電話機出荷統計情報』2010年1月号を2010年3月初旬に発刊しました。

2010年1月の国内携帯電話出荷台数は、データ通信カード(WILLCOM CORE 3G等も含む)と合わせて257万2千台であった。2ヶ月連続の落ち込みとなったが、前年同月比では122.7%のプラス成長を遂げた。プラス成長をもたらした最大の要因はKDDI向け出荷が大幅に伸びたことにある。1月はdocomoとKDDIから新製品を1モデルずつ発売したが、SoftbankとE-Mobileから新製品の発売はなかった。しかし、2月初旬に発売される新製品4モデルの初回出荷が1月中に行なわれており、合計で6モデル分の初回出荷があった。



主要キャリア向けの出荷動向を見ていくと、前月比及び前年同月比ともにプラス成長だったのはKDDI向け出荷であった。新製品の初回出荷分が3モデルと4キャリアの中で最も多く、また2009年夏モデル及び冬モデルが依然として好調に推移していることなどが出荷を伸ばす要因となった。出荷台数は90万台を大きく上回り、100万台近い出荷を記録した2008年1月の水準に近づいた。昨年1月の同社向け出荷台数が50万台を下回っていたこともあり、2010年1月単月だけで見ると224%の成長を遂げた。docomo向け出荷は前月比及び前年同月比ともにマイナス成長だったが、冬春モデルの根強い人気に支えられて出荷台数は100万台を超えた。また、Softbank向けは前年同月比でプラス5%成長となり50万台を上回る台数となった。しかしながら出荷台数に占める「iPhone 3GS」の割合が高まってきており、同製品を偏重する傾向がよりいっそう鮮明化してきた。



携帯電話機メーカー別に1月の出荷状況を見てみると、昨年12月に対前月比で大きく落ち込んだSharpは再びプラス成長に転じ80万台弱を出荷した。特に2010年春モデルの目玉製品の1つでもあるKDDI向け「SH005」や、Softbank向け「840SH」の初回出荷を開始したことがプラス成長の要因となった。Sharpに続いて1月に出荷台数が2位となったのはNECであった。同社はN-01Bが好調を保っているのに加え、新製品「N-03B」の出荷も始まったことで久々に2位の座に返り咲いた。しかしながら1月はNECが好調であったというよりも、FujitsuやPanasonicなど主にdocomo向けに出荷しているメーカーが、2009年冬モデルから2010年春モデルの端境期にあたり出荷が一時的に落ち込んだという要因がある。今後Panasonicは、2月にdocomo向けに2モデル、さらにSoftbank向けに3モデルの新製品の初回出荷を行っており、大きく成長することが見込まれる。この他、KDDI向けに出荷を行なっているKyoceraやSony Ericssonが好調に出荷量を伸ばし、いずれも前月比及び前年同月比でもプラス成長を記録した。Kyoceraは前年同月比で200%を上回り、Sony Ericssonは同じく400%を大きく上回る成長を遂げた。

昨年12月に年末需要の高まりなどを受けて市場全体の2割以上の占めた海外メーカーは、2010年1月にはキャリアの在庫調整なども行なわれ若干減少傾向にあり、市場シェアも20%を割り込んだ。韓国系メーカーに関して言えば、12月は市場シェア10%以上だったのに対して、1月はSamsungの出荷台数が大きく減ったことなどが原因で10%を割り込んだ。Appleは「iPhone」製品の需要が堅調であり順調に市場シェアを伸ばした。

2月にはE-Mobileを含めた4キャリアが揃って新製品を発売するため出荷台数の大幅増が期待できる。

【2009年12月発売の新製品】

キャリア	メーカー	モデル名	特徴 etc.
docomo	NEC	N-03B	NEC初の防水携帯。背面塗装には日産自動車の特殊塗装技術「クチラッチ シールド」を採用して、塗装を長持ちさせている。
KDDI	Sharp	SH005	7色の防水スリムケータイ。歩数計を搭載し、健康管理に役立つ。タニタの体組成計とも連携が可能幅広いユーザー層向けケータイ。

【資料紹介】

『月刊携帯電話機出荷統計情報』は各携帯電話機メーカーの通信事業者向け出荷台数を、毎月各モデル別に調査し統計を取って資料として纏めており、モデル別データを必要とする顧客にとって最適の資料となります。

【プレスリリース及び資料のお問い合わせ先】

株式会社テクノ・システム・リサーチ

第2グループ 武花勇一(takehana@t-s-r.co.jp) 戸波勝徳(tonami@t-s-r.co.jp)

TEL:03-3866-4505 / e-Mail:info@t-s-r.co.jp